

# 第88回定期全国大会開催 労働運動を強化し、日本を良くして行こう!



東京都大田区蒲田  
5の10の2  
**全日本港湾労働組合機関紙**  
(毎月1日発行)  
一部20円 (組合員の購読料は組合費の中に含む)  
発行責任者  
真島勝重



全日本港湾労働組合の第八八回定期全国大会を、九月六日、七日の二日間、シーパレスにて開催した。全国から大会代議員八七名、中央本部役員二〇名、傍聴者を含め二三名が出席、議長団は吉田一夫代議員(東北)、法土豊行代議員(日本海)が務めた。はじめに、執行部を代表して松本中央執行委員長があいさつし「日本の国民の暮らしを良くすることが政治というものだ。国民の圧倒的多数は労働者だ。従って労働者が良くなれない、一部の金持ちだけが良くなるような政治であってはならない。このことを私たち労働者が先頭に立って進めていかなければならないと思う」等と述べた。



続けて、全国港湾労働組合連合会系中央執行委員長が来賓あいさつをおこない「労働運動は平和でないと成り立たない。戦時体制になったら、今の状況の中でも我々の活動は制約される」と述べた上で、「差し迫った問題として産別制度賃金問題がある。産別制度賃金に対して日港協は回答しないという態度に終始している。現在、労使政策委員会が継続協議をやっているが、回答はまだない。では、対抗として何をするか。

二〇一七年の年末二〇一八年の年始の作業協力はできませんと、到底協力できる状況にないと申し伝えている。この点だけはお分かりいただきたいと思う」と秋年末闘争に向けての意気込みを伝えた。議案については、本部案を支持する立場からの発言が相継ぎ、討議の後、全ての議案を可決した。そして、大会宣言を採択し、松本委員長の団結がんばろうで締めくくった。役員については中間年大会のため変更はなかった。

第一議題 主なたたかいの経過と総括、運動方針の補強 運動の基調については変更なく「一、新自由主義による

規制緩和、競争社会に反対し、貧困をなくし、格差社会を是正する。二、港湾産業、運輸産業における産別運動を強化するとともに、企業の枠を超えた地域運動、国際運動と連携し、中小企業労働者と非正規雇用労働者の立場から労働運動の再建をたかこう。三、戦争法制の早期廃止を求め、

反戦・平和、社会保障の充実、人権擁護、脱原発と環境保護をたたかい、働く者のための政治を実現する。四、大衆路線にもとづいて職場闘争を強化し、活動家を育成し組織の強化拡大を勝ち取る」を確認。そして、四六名の代議員・特別代議員から多岐にわたる活発な意見を受け討議をおこなった。そして最後に、二〇一六・一七年度の運動方針の補強を満場一致で確立した。

第二議題 一六年度決算報告、会計監査報告、一七年度予算 決算及び会計監査報告については、大きな問題点はなし。一七年度予算については引き続き緊縮予算とし、運動の低下を招かないよう注意しながら、各種会議費等の削減をおこない努力していくとした。組合費納入人員については、二二一人増の八、三〇八人とし予算編成したい。一七

年度組合費については、二七〇円で据え置き、春闘闘争カンパについては一、〇〇〇円(全国港湾カンパ含む)としたい、共済基金については昨年同様月額八〇〇円とした。闘争資金についても昨年同様月額一〇〇〇円としたいとの提案を受けた。

我々全港湾沖縄地方本部沖縄セメント工業分会は会社の不当な賃金差別、部署内でのパワハラ、労働者の権利無視、三六協定すら結ばれていない言わば経営者独裁の職場となっていました。労働条件の改善を求め二〇〇九年七月に当時一四名で全港湾沖縄地方本部に加入致しましたが組合加入してからも会社側からの嫌がらせやパワハラが続き

組合加入後、会社に対し数十回と団体交渉を重ねても道は開けず、二〇一〇年十二月二日、三日、分会は会社側の譲歩を求めて四八時間ストライキを決定しました。しかし、その事で会社と裁判闘争(出荷妨害禁止仮処分・損害賠償請求)が始まりました。

二議題を可決した。第三議題 秋年末闘争方針 秋年末闘争については、港湾産別協定の完全履行とアライアンス再編等に注視しながら、引き続き労働条件の引き上げ、定年延長等々に取り組んでいく。冬季一時金闘争については十一月下旬を解決目標とし、要求額については、昨年同季の率・額以上とする。一八春闘に向けては、十月及び十一月に開催する中央執行委員会において、春闘要求額、産別制度政策要求についての検討をおこなうとともに、賃金体系についても各地

方で議論をおこなっていくとされている。春闘方針については、一月二十二日、二十三日に開催する第三九回中央委員会で決定していくとした。そして、組織の強化と拡大に取り組んでいくとし、原案とおり可決した。

第四議題 年間ストライキ権の確立 スト権投票の結果、提案どおり、年間スト権を確立した。新規加入分会紹介 関東地方及び関西地方の五分会を紹介し、分会旗を授与した。

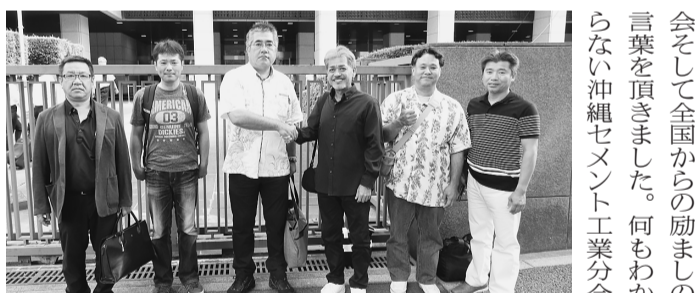
八七日を表彰し、関西地方神戸弁天支部の磯田和男氏が総代を務め記念品を受け取った。(片柳悦正)

## 不当労働行為は許さない! 沖セメント闘争東京地裁勝利判決

組合員の家まで通達が届き何もしない家族まで心配をかけた事は今でも鮮明に覚えています。その間、地本や各分会として全国からの励ましの言葉を頂きました。何もわかない沖縄セメント工業分会

がきっかけだったと思います。この八年度で次の案件を沖縄労働委員会へ申し立てを行いました。二〇一〇年四月と七月に不当労働行為救済の申請、二〇一一年七月に実行確保処置の申請、二〇一一年七月に仮処分命令の申請、二〇一一年八月に不当労働行為救済の申請、二〇一三年三月に不誠実団交及び団体交渉拒否等救済の申請を行いました。

二〇一三年三月の不誠実団交及び団体交渉拒否等の救済申請が二〇一四年三月に会社側を擁護する命令となったため、翌二〇一五年四月に再審査請求を中央労働委員会へ申請しました。その間はさらに会社の対応は酷くなり、手渡しで交渉申



二〇一六年三月に組合側の主張を全面的に認める中央労働委員会の決定(一、初審命令の取り消し。二、沖縄労働委員会判断の誤り・人事考課の取り消し。三、沖縄労働委員会判断の誤り・人事考課制度等団体交渉拒否、査定制度に係わる組合側主張の正当性。三、不当労働行為を繰り返さない旨の文書交付。)を不服として会社側が国を相手に中央労働委員会の命令取り消しを求めて東京地裁へ提訴しました。二〇一七年八月二

十八日、東京地裁は「会社側は団交を拒否しており、不当労働行為に当たるとし」請求を棄却しました。ところが、その判決に会社側は不服として同年九月六日に高裁へ控訴しました。

一〇〇人ほどの会社従業員の中、多少の分会員の入替わりはあったものの一三名で組織する我々沖縄セメント工業分会ですが、結成八年職場環境を改善すべく日々頑張り着実に進歩しています。また、分会員以外の従業員からも労働組合に興味を持った方々から色々質問を受けることも増えてきました。沖縄セメント工業分会もそのような質問に答える事ができるよう勉強し、また会社に届くことな

く中央本部、各地方からの激励を力にし、分会員一同これからも全力でたたかいます。(沖縄セメント工業分会 副分会長 志慶真元)



議長団：法土代議員(左)、吉田代議員(右)

二議題を可決した。第三議題 秋年末闘争方針 秋年末闘争については、港湾産別協定の完全履行とアライアンス再編等に注視しながら、引き続き労働条件の引き上げ、定年延長等々に取り組んでいく。冬季一時金闘争については十一月下旬を解決目標とし、要求額については、昨年同季の率・額以上とする。一八春闘に向けては、十月及び十一月に開催する中央執行委員会において、春闘要求額、産別制度政策要求についての検討をおこなうとともに、賃金体系についても各地

方で議論をおこなっていくとされている。春闘方針については、一月二十二日、二十三日に開催する第三九回中央委員会で決定していくとした。そして、組織の強化と拡大に取り組んでいくとし、原案とおり可決した。

第四議題 年間ストライキ権の確立 スト権投票の結果、提案どおり、年間スト権を確立した。新規加入分会紹介 関東地方及び関西地方の五分会を紹介し、分会旗を授与した。

八七日を表彰し、関西地方神戸弁天支部の磯田和男氏が総代を務め記念品を受け取った。(片柳悦正)

# 松本委員長開会あいさつ(概要)



報道されている北朝鮮のミサイルと核実験の問題について

報道されている北朝鮮のミサイルと核実験の問題について触れないわけにはいかない。報道は非常に偏っているが、九月一日には首相官邸広報室の名前で東京新聞に対して報道を制限するような文書指示が出されている。

北朝鮮が挑発行為を繰り返していること報道されているが、アメリカの強大な軍事力とアジアの小さな北朝鮮が戦争をしたらどうなると思うか？明らかに勝負は決まるではないか。そういう小さな国がなぜ挑発をしなければならぬのか。実は一九五〇年からおこなわれた朝鮮戦争がまだ終わっていないのだ。アメリカと平和条約が結ばれていないのだ。まだ休戦協定となっているのだ。

もうひとつ、アメリカは一九九〇年代、ならずもの国家として五つの国を指定している。この国に対してアメリカはいつでも攻撃することができるといっている。五国の名前は、イラク、リビア、アフガン、イラン、そして北朝鮮だ。

道されている朝鮮の挑発という問題が、実はアメリカの豊かで治安が素晴らしいと言われている。しかし、アメリカが進めた戦争によって日本に人が住めるような状態ではない危険な国になってしまった。もし、何らかの切っ掛けで東アジアで戦争が起きてしまったら、果たしてどうなるか。

日本はこれまで平和のため、平和を前提に発展してきた国。国と国が争いテロが横行するような地域にこの日本が巻き込まれたら今までの様変わりしてしまう。私どもはアメリカの戦争策動に乗っかって、一緒に戦争を進めようとする安倍政権を何とかして止めなければならぬ。ロックードをはじめトマホークをつくった資本まで含めて膨大な企業がアメリカにある。こうした企業は戦争なしには生きてはいけない。北朝鮮との緊張が高まる度に日本でもリーダーシステムに一六〇〇億円、そして防衛のために必要のないステルス戦闘機を六機で八〇〇億円など、朝鮮半島有事を口実として我々の生活に回すべき税金の多くを軍事産業の購入に使ってきた。私たちは、今報

道されている朝鮮の挑発という問題が、実はアメリカの豊かで治安が素晴らしいと言われている。しかし、アメリカが進めた戦争によって日本に人が住めるような状態ではない危険な国になってしまった。もし、何らかの切っ掛けで東アジアで戦争が起きてしまったら、果たしてどうなるか。

日本はこれまで平和のため、平和を前提に発展してきた国。国と国が争いテロが横行するような地域にこの日本が巻き込まれたら今までの様変わりしてしまう。私どもはアメリカの戦争策動に乗っかって、一緒に戦争を進めようとする安倍政権を何とかして止めなければならぬ。ロックードをはじめトマホークをつくった資本まで含めて膨大な企業がアメリカにある。こうした企業は戦争なしには生きてはいけない。北朝鮮との緊張が高まる度に日本でもリーダーシステムに一六〇〇億円、そして防衛のために必要のないステルス戦闘機を六機で八〇〇億円など、朝鮮半島有事を口実として我々の生活に回すべき税金の多くを軍事産業の購入に使ってきた。私たちは、今報

道されている朝鮮の挑発という問題が、実はアメリカの豊かで治安が素晴らしいと言われている。しかし、アメリカが進めた戦争によって日本に人が住めるような状態ではない危険な国になってしまった。もし、何らかの切っ掛けで東アジアで戦争が起きてしまったら、果たしてどうなるか。

日本はこれまで平和のため、平和を前提に発展してきた国。国と国が争いテロが横行するような地域にこの日本が巻き込まれたら今までの様変わりしてしまう。私どもはアメリカの戦争策動に乗っかって、一緒に戦争を進めようとする安倍政権を何とかして止めなければならぬ。ロックードをはじめトマホークをつくった資本まで含めて膨大な企業がアメリカにある。こうした企業は戦争なしには生きてはいけない。北朝鮮との緊張が高まる度に日本でもリーダーシステムに一六〇〇億円、そして防衛のために必要のないステルス戦闘機を六機で八〇〇億円など、朝鮮半島有事を口実として我々の生活に回すべき税金の多くを軍事産業の購入に使ってきた。私たちは、今報

道されている朝鮮の挑発という問題が、実はアメリカの豊かで治安が素晴らしいと言われている。しかし、アメリカが進めた戦争によって日本に人が住めるような状態ではない危険な国になってしまった。もし、何らかの切っ掛けで東アジアで戦争が起きてしまったら、果たしてどうなるか。

日本はこれまで平和のため、平和を前提に発展してきた国。国と国が争いテロが横行するような地域にこの日本が巻き込まれたら今までの様変わりしてしまう。私どもはアメリカの戦争策動に乗っかって、一緒に戦争を進めようとする安倍政権を何とかして止めなければならぬ。ロックードをはじめトマホークをつくった資本まで含めて膨大な企業がアメリカにある。こうした企業は戦争なしには生きてはいけない。北朝鮮との緊張が高まる度に日本でもリーダーシステムに一六〇〇億円、そして防衛のために必要のないステルス戦闘機を六機で八〇〇億円など、朝鮮半島有事を口実として我々の生活に回すべき税金の多くを軍事産業の購入に使ってきた。私たちは、今報

道されている朝鮮の挑発という問題が、実はアメリカの豊かで治安が素晴らしいと言われている。しかし、アメリカが進めた戦争によって日本に人が住めるような状態ではない危険な国になってしまった。もし、何らかの切っ掛けで東アジアで戦争が起きてしまったら、果たしてどうなるか。

日本はこれまで平和のため、平和を前提に発展してきた国。国と国が争いテロが横行するような地域にこの日本が巻き込まれたら今までの様変わりしてしまう。私どもはアメリカの戦争策動に乗っかって、一緒に戦争を進めようとする安倍政権を何とかして止めなければならぬ。ロックードをはじめトマホークをつくった資本まで含めて膨大な企業がアメリカにある。こうした企業は戦争なしには生きてはいけない。北朝鮮との緊張が高まる度に日本でもリーダーシステムに一六〇〇億円、そして防衛のために必要のないステルス戦闘機を六機で八〇〇億円など、朝鮮半島有事を口実として我々の生活に回すべき税金の多くを軍事産業の購入に使ってきた。私たちは、今報

道されている朝鮮の挑発という問題が、実はアメリカの豊かで治安が素晴らしいと言われている。しかし、アメリカが進めた戦争によって日本に人が住めるような状態ではない危険な国になってしまった。もし、何らかの切っ掛けで東アジアで戦争が起きてしまったら、果たしてどうなるか。

日本はこれまで平和のため、平和を前提に発展してきた国。国と国が争いテロが横行するような地域にこの日本が巻き込まれたら今までの様変わりしてしまう。私どもはアメリカの戦争策動に乗っかって、一緒に戦争を進めようとする安倍政権を何とかして止めなければならぬ。ロックードをはじめトマホークをつくった資本まで含めて膨大な企業がアメリカにある。こうした企業は戦争なしには生きてはいけない。北朝鮮との緊張が高まる度に日本でもリーダーシステムに一六〇〇億円、そして防衛のために必要のないステルス戦闘機を六機で八〇〇億円など、朝鮮半島有事を口実として我々の生活に回すべき税金の多くを軍事産業の購入に使ってきた。私たちは、今報

# 来賓あいさつ(概要)



労働運動は平和でないと成り立たない。戦時体制になったら、今の状況の中でも我々の活動は制約される。そして一旦事あれば、我々の運動は非常に混乱する。サッカーワールドカップのアジア最終戦、プロ野球の試合も平和でなければできない。

労働運動は平和でないと成り立たない。戦時体制になったら、今の状況の中でも我々の活動は制約される。そして一旦事あれば、我々の運動は非常に混乱する。サッカーワールドカップのアジア最終戦、プロ野球の試合も平和でなければできない。

全国港湾は、それぞれ考え方が違う組織が寄り集まって協議会を発足させ今日に至っている。九月十三日、十四日に第一〇回目の連合会の大会をおこなう予定となっている。しかしながら、全港湾のように、まだ一枚岩ではない。まだまだ全港湾の課題は大きいと言わざるを得ない。大会の開会に際して全港湾の歌・労働歌をうたわれた

労働運動は平和でないと成り立たない。戦時体制になったら、今の状況の中でも我々の活動は制約される。そして一旦事あれば、我々の運動は非常に混乱する。サッカーワールドカップのアジア最終戦、プロ野球の試合も平和でなければできない。

全国港湾は、それぞれ考え方が違う組織が寄り集まって協議会を発足させ今日に至っている。九月十三日、十四日に第一〇回目の連合会の大会をおこなう予定となっている。しかしながら、全港湾のように、まだ一枚岩ではない。まだまだ全港湾の課題は大きいと言わざるを得ない。大会の開会に際して全港湾の歌・労働歌をうたわれた

労働運動は平和でないと成り立たない。戦時体制になったら、今の状況の中でも我々の活動は制約される。そして一旦事あれば、我々の運動は非常に混乱する。サッカーワールドカップのアジア最終戦、プロ野球の試合も平和でなければできない。

全国港湾は、それぞれ考え方が違う組織が寄り集まって協議会を発足させ今日に至っている。九月十三日、十四日に第一〇回目の連合会の大会をおこなう予定となっている。しかしながら、全港湾のように、まだ一枚岩ではない。まだまだ全港湾の課題は大きいと言わざるを得ない。大会の開会に際して全港湾の歌・労働歌をうたわれた

労働運動は平和でないと成り立たない。戦時体制になったら、今の状況の中でも我々の活動は制約される。そして一旦事あれば、我々の運動は非常に混乱する。サッカーワールドカップのアジア最終戦、プロ野球の試合も平和でなければできない。

全国港湾は、それぞれ考え方が違う組織が寄り集まって協議会を発足させ今日に至っている。九月十三日、十四日に第一〇回目の連合会の大会をおこなう予定となっている。しかしながら、全港湾のように、まだ一枚岩ではない。まだまだ全港湾の課題は大きいと言わざるを得ない。大会の開会に際して全港湾の歌・労働歌をうたわれた

労働運動は平和でないと成り立たない。戦時体制になったら、今の状況の中でも我々の活動は制約される。そして一旦事あれば、我々の運動は非常に混乱する。サッカーワールドカップのアジア最終戦、プロ野球の試合も平和でなければできない。

全国港湾は、それぞれ考え方が違う組織が寄り集まって協議会を発足させ今日に至っている。九月十三日、十四日に第一〇回目の連合会の大会をおこなう予定となっている。しかしながら、全港湾のように、まだ一枚岩ではない。まだまだ全港湾の課題は大きいと言わざるを得ない。大会の開会に際して全港湾の歌・労働歌をうたわれた

# 大会宣言

私たちは、豊橋市シーパレス日港福において第88回定期全国大会を開催し、労働者の働く権利の確立と生活向上をはかり、格差社会を是正し、戦争のない平和な社会をつくり、安心と共生の社会をめざし、産業別労働運動と地域運動、国際運動と連帯し、全港湾を強化し拡大する2016・17年度運動方針の補強を決定した。

安倍政権は森友学園や加計学園の問題で、説明責任から逃げ続ける一方、国民の多くが反対する「共謀罪」法を、委員会審議を打ち切る異例のやり方で強行成立させた。都議選では、稲田防衛大臣の立会演説会における選挙協力を示唆する自衛隊の政治利用など、政府与党の驕りが顕著になり、民主主義の根幹である国会での議論を数の力で封殺する国会軽視・国民無視の姿勢を続けている。

また、安倍政権は、集団的自衛権行使を容認する勝手な憲法解釈論を用い、5月3日憲法記念日には、安倍首相が憲法9条を改悪し2020年施行を目指すことを表明した。

更に、安倍政権は労働法制の改悪を狙っている。秋の臨時国会では、「働き方改革」と称し、過労死ラインと判断される月80時間の時間外労働を認める残業上限規制や残業代ゼロ制度の成立を目論み、解雇の金銭解決制度の導入も視野に入れている。

また、東日本大震災から6年以上が経過した。未だ復興は道半ばにも拘らず、避難指示解除地域を拡大し、自主避難者の補償が打ち切られた。さらに、政府主導で原発再稼働に向けて強行に動いている。7月に法的に核兵器を禁止する初めての国際条約が、国連の交渉会議で賛成多数で採択されたが、日本は棄権した。いかなる理由があろうとも核兵器を正当化することは、被爆国としてあってはならないことであり、核兵器の非人道性を訴えていくことが、日本の果たすべき役割である。

多くの国民が、共謀罪をはじめとする様々な悪法の成立に反対し、説明不足極まりないと、安倍政権に「ノー」を突きつけている。労働組合をはじめ、市民団体、若者・女性たちが声を上げ、安倍政権の暴走を食い止めるため頑張っている。

このような情勢の中で私たちは、全国で働く多くの仲間とともに、暴走する安倍政権を野党共闘で打倒し、安心して暮らし続けられる平和で公平な社会の実現と、安心・安全な職場環境の実現に全力で取り組む。また、労働者、国民の要求実現と労働組合の社会的影響力の向上のため、組織拡大・組織強化に全力で取り組む。

以上、新たな決意のもとに組織の総力を挙げてたたかい抜くことを宣言する。

2017年9月7日

全日本港湾労働組合  
第88回定期全国大会

# 全国港湾第一〇回定期全国大会開催 連合体一〇年、魅力ある港湾へ産別強化



全国港湾は、九月十三日、十四日、シーパレスにおいて第一〇回定期大会を開催した。大会にはオブザーバーを含めて二八〇名が出席、全港湾からは五四名が出席した。来賓には港運同盟、ITF東京事務所、全労済が出席、大会議長団は橋崎代議員（全港湾）と秋谷代議員（検定労連）が務めた。

役員については、四役では沖原副委員長（検数労連）が退任となり、新たに瀬戸副委員長（検数労連）が選出された。糸谷委員長（日港労連）、松本副委員長（全港湾）、柏木副委員長（日港労連）、遠藤副委員長（検定労連）、玉田書記長（全国港湾）、市川書記次長（検定労連）については引き続き再任された。中執では西牟田中執（全倉運）、岩崎中執（全倉運）、金月の中執（全日通）が退任となり、柳野中執（全倉運）、瀬川中執（全倉運）、高野中執（全日通）が選出された。

議題については、運動の基調「一、港湾労働者・中小零細港運事業者に立脚した港湾労働・港運事業のための制度・政策課題の前進を図る。とくに、港湾運送事業の健全な発展、持続可能な事業展開への道を同時に探求し促進する」を軸に、『足元強化』の徹底を進める。五、ITFに団結し、国際連帯活動のさらなる前進を図る。六、国民的諸問題を鮮明にし、国民的

る。二、港湾労働者に係る一般的な労働環境整備を図る。そのために、産別協定を「すべての港湾労働者」に適用と



するよう取り組む。同時に、関係法令の遵守、産別協定の履行と拡充を軸に、雇用と職域の確保、安全で安心して働ける職場づくりに取り組む。三、二者二者協議体制を軸にした集団的労使関係、中央港湾団交とその歴史的到達としての産別協定を断固として堅持し、その強化・発展を図る。とくに、『独禁法問題』の解決を強く迫り、今後の労使関係の障害とすることのないよう取り組む。四、産別組織の強化・拡大を図る。中央・単組・地区港湾の相互尊重、『統一要求・統一行動』を軸に『足元強化』の徹底を進める。五、ITFに団結し、国際連帯活動のさらなる前進を図る。六、国民的諸問題を鮮明にし、国民的

な運動（共闘関係）とは一致点を大事にして取り組みを進める」を確認し、「一六年度の主な取り組み経過（案）」、「一七年度運動方針（案）」、「産別ストライキ権の確立について（案）」、「全国港湾規約の改正について（案）」、「決算予算（案）」、「一七秋年未における具体的活動方針について（案）」等すべての議題を可決した。

そして、最後に「第一に、港湾労働者の雇用と職域の確保・拡大、安心安全の職場づくりを基本に港湾労働者の諸労働環境改善を図る取り組みを行う。第二に、一連の独禁法問題を払拭し、産別労使関係を基軸に、交渉の促進・産別協定の強化・拡大を図る。第三に、安倍政権の立憲主義

破壊と憲法改悪に反対し、港湾労働者・国民の暮らしと命・平和を守る取り組みを進める。第四に、辺野古新基地建設反対の取り組みを港湾労働者として組織し、土砂搬出阻止に向けた取り組みを進める」などとする大会宣言を採択し大会を終えた。

なお、二〇一七秋年未闘争については、働く者の要求をばはむものとしたたい、雇用と職域の確保、安心・安全の港湾労働を指し取り組んでいくとし、秋の中央行動を十一月二十一日、二十二日に予定、一八春闘については、中央委員会を一月二十四日、二十五日に開催し、春闘方針を決定していくとした。

（片柳悦正）

## 在籍三〇年表彰を受けて

神戸弁天浜支部 磯田和男



本大会で、三〇年間在籍組合員八七名を代表して、表彰を受けました。私は一九八六年八月一日から、登

録日雇い港湾労働者として神戸港ではたらくことになりました。当時三三歳の私は、二ヶ月の試用期間でお金を貯めて、長期の外国旅行に行くつもりでいました。お金は何とか貯まったものの、仕事を辞めて外国に行くことはできませんでした。

新港湾労働法闘争登録日雇いからセンター常用へ、国鉄の分割民営化、ベリリンの壁崩壊、総評・社会党の解体、連合発足、昭

一八八八年から八九年にかけての新港労法闘争は、神戸港では数名の自殺者を生み、二三〇名の組合員は八〇名が常用労働者となりました。六大陸で、センター常用に移行したのは三〇〇名ほどです。

平成の開始と同時に出発した、新港労法下での雇用安定センターとセンター常

用制度は、一一年四ヶ月で廃止されました。廃止時の労働者数は一三〇名です。その間、自衛隊の海外派兵反対闘争、新免反対闘争、規制緩和反対闘争を全国の仲間と共に闘い抜くことになりました。また、九五年の阪神・淡路大震災では、全港湾の共同雇用を具体的に実践しようとした。しかし、九八年リパブル闘争の敗北とその教訓も生かせず、共同雇用の芽を潰されることを阻止できませんでした。あれから一七年が経ちます。旧港労法時の指導部も多くが亡くなったり一線を退いています。あと数年で二九年続いた平成

も、新たな元号になろうとしています。

この三〇年間を振り返って、右翼的労働戦線統一に對して階級的労働運動を、企業内主義を突破する共同雇用を見据えた産別運動を大衆路線でという全港湾の基本方針の再確立を期待しています。指導部の裏切りや闘いの敗北は、組合員の生活と人生に大きな影響を与えます。全港湾の団結が握り締めた手の中の砂ではなく、苦しみ闘う多くの人々の希望であるように、これからも共に頑張っていけたらと思います。

## 新たに5分会が全港湾の仲間

2016年度、全港湾に新しく5分会の仲間が加入をした。大会当日は、分会を代表して横浜支部名海運輸作業分会の青奈組合員、秋澤組合員、大阪支部の吉本組合員（代理）が登壇し分会旗を受け取った。

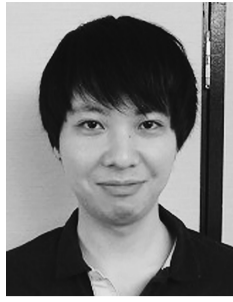
関東地方横浜支部名海運輸作業分会	12名	港湾
関西地方大阪支部双和運輸倉庫分会	5名	ローリー
関西地方阪神支部トール神戸分会	4名	その他
関西地方阪神支部川崎ヘビーカーゴ分会	2名	重トレ
関西地方阪神支部名阪船舶分会	9名	関連



# 大会参加者の声

## 北海道地方釧路支部

### 山崎 優



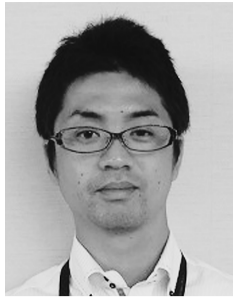
第八八回定期全国大会に参加された皆様、二日間大変お疲れさまでした。今回私は傍聴として、初めて全国大会に参加させていただきました。

大会規模、参加人数及び質疑応答での活発な討論に圧倒された二日間でした。

各地方、各支部でのミクロ的な問題から、国内政治、労働環境や法律、脱原発といったマクロ的な問題が総括されていくと感じております。二日間という短い期間の中で、これらを中心とした討論

## 東北地方小浜支部

### 郡司 忠



九月六日から七日に行われた、第八八回定期全国大会に参加された皆様、二日間大変お疲れ様でした。大会は全国

ばならないと話がありまして。多くの犠牲者を出し敗戦国である日本が、「平和」・戦争をしない国づくりを世界へ発信していかねばいけません。

原発問題の話になります。福島第一原発事故はまだ終わっていません。震災から六年数カ月経った今でも避難者は約八万人以上います。

日本海地方舞鶴支部  
小森 宏

## 日本海地方舞鶴支部

### 小森 宏



大会の中で沖縄セント工業分会闘争の東京地裁判決で組合側の全面勝利の報告がされました。これまで闘ってこられた原告組合員の方々に敬意を表したいと思います。

この闘争に支援を続けてきた全港湾という組合の懐の深さを感じています。今回の全国大会が五回目を参加になりますが、特に今回

と運動することが大事であると思います。最後になりましたが、第八八回定期全国大会の運営に携わられたすべての

## 関東地方横浜支部

### 青奈邦彦



九月七日、豊橋シーパレスにて、全港湾第八八回定期全国大会に新規加入分会（名海運輸作業分会）として出席させていただきます。

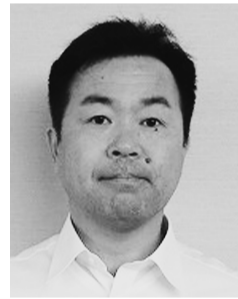
自分自身の支部・分会においても港湾産別の中にあるんだという思いを強くいただきました。

私共の分会はコンテナターミナルでの勤務ですが、色々な職種、業種に就かれている方々の様々な問題点等も聞く事ができ、大変勉強になりました。

東海地方四日市支部  
山田 勝

## 東海地方四日市支部

### 山田 勝



第八八回定期全国大会に参加された皆様、二日間大変お疲れ様でした。併せて参加させていただきますありがとうございます。

この貴重な経験、知識を今後の組合活動に活かしていきたいと思っております。全港湾の活動に対しては私自身にできる事は限られてしまっていますが、全港湾の一員として精一杯活動に努め全港湾の発展のために微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。

最後にありますが議長団をはじめ大会準備、運営をして頂いた皆様方お疲れ様でした。そしてこのような貴重な機会を頂きありがとうございます。

東海地方名古屋支部  
上條清隆

## 東海地方名古屋支部

### 上條清隆



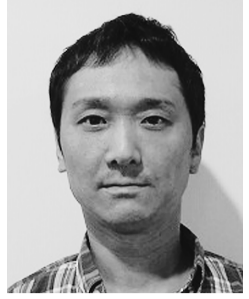
第八八回定期全国大会に参加された皆様、二日間大変お疲れ様でした。名古屋支部の上條と申します。

今回の大会に参加し、各地方の皆様が発言を聞いておりましたが、様々な部分に特化した運営の皆様、お疲れ様でした。この場を借りてお礼を申し上げます。



関西地方阪神支部

入江友規



た、年金支給年齢の引き上げには断固反対し、我々の生活に直結する社会保障費への転換の運動も必要になります。

第八八回定期全国大会に参加させて頂きました。昨年に引き続き二回目で、豊橋シーパレスでの大会には初めての参加です。開会の前に参加者全員で「港湾労働者の歌」を歌いましたが、皆の団結を直ぐに確認できる強みが全港湾にはあると再認識しました。

質疑・討論では我々阪神支部の代議員からもたくさん意見がありました。賃金の問題や労働環境、産別協定等、幅広い議論ができたのではないかと思います。また、全国的に組合員数が減少傾向にある中で、組織拡大は各地方共通の切実な課題と言えるでしょう。

今大会で今後の方針は確立されましたが、同時に全国の仲間が一堂に会し連帯を確認できた事は非常に意義があったと思います。大会での有意義で中身の濃い議論を各地方に持ち帰り、阪神支部としても支部の大会を成功できるように、また、阪神支部が全港湾の中で更に存在感を發揮していきけるように、組合員の皆様に反映していく努力を惜しまぬ事を決意しました。

我が日本では防衛費が増大し、過去最高の防衛予算が計上されています。安倍政権としてもアメリカに追随、同調の方針を示していますが、糸谷全国港湾執行委員長のお話では、「労働運動は平和という大前提があつてこそ論議できる」との説明があり、政権のこれからの動向には注視する必要がありますと同時に、世界平和に向けての我々の働きかけが必要となってきます。ま



四国地方松山支部

竹森将一



発に落ちたとしたら最悪な結果になるでしょう。

沖繩地方からは、辺野古新基地建設の近況報告がありましたが、運動方針の補強にもあるように反戦、反核、平和と民主主義、環境を守るための全国仲間と共に一致団結して、より一層取り組まなければならぬとあらためて痛感致しました。

大会役員としては、資格審査委員をさせて頂き、特別代議員の受付を担当することになりました。議員証の正を預かり副を渡さなければならぬのに、途中から混ざってしまった。大会では、全国から様々な意見が出され、その中でも北海道地方からの北朝鮮ミサイル問題については、私自身非常に考えさせられました。ただでさえ、海に著水している事で環境に悪い影響が出ているかもしれないし、上空通過中にトラブルが起き、市街地などに着弾してしまえば大変な被害が出てしまいます。それらがもし、全国にある原

九州地方博多支部

陳ヶ尾 俊



定期全国大会に参加された皆様、二日間大変お疲れ様でした。私は今回、初めて全国大会に参加させてもらいました。

九月六日から七日の第八八

大会の規模、参加人数、一番圧倒されたのは、活発な質

疑および意見の答弁でした。原発問題、辺野古基地、戦争法案や労働法制の国内の政治から、各地で抱えている労働環境に関する問題まで、すべてが議題となっていました。

沖繩地方からは、辺野古新基地建設の近況報告がありましたが、運動方針の補強にもあるように反戦、反核、平和と民主主義、環境を守るための全国仲間と共に一致団結して、より一層取り組まなければならぬとあらためて痛感致しました。

疑および意見の答弁でした。原発問題、辺野古基地、戦争法案や労働法制の国内の政治から、各地で抱えている労働環境に関する問題まで、すべてが議題となっていました。

沖繩地方

知花 勉



いき同志と共に取り組んでいきたいと痛感しました。北朝鮮の問題も平和的に解決できればと願います。

でもトラック業界を取り巻く問題は、長時間労働の問題や料金問題、マッチングサービス等と港湾にいる私には解らなかつた事を聞くことで知る事ができました。また、沖繩の平和行進で全国の方々から、事前に学習会を行いその準備に一切のおごりもなく毅然とした態度で取り組んでいく事に感心いたしました。全港湾は平和への意識が高い事を再認識させられた意見でした。

九月六日から七日まで、第八八回定期全国大会に参加された皆様、二日間の日程大変お疲れさまでした。私は、今回初めて参加させていただきました。大会の中で北朝鮮のミサイルの問題、自然災害による労働問題、長時間労働問題、ヒアリの問題等の多くの質疑、意見が出されていきました。中

2016・17年度全港湾役員

中央執行委員長	松本 耕三 (東北)
副中央執行委員長	大野 進 (関西)
書記	永英 (九州)
書記次長	鈴木 誠一 (関東)
中央執行委員	真島 勝重 (日本海)
"	見村 俊樹 (沖繩)
"	妻代 秀人 (北海道)
"	鈴木 正一 (東北)
"	柳光 浩一 (日本海)
"	鈴木 光茂 (関東)
"	藤勝 也 (東海)
"	山崎 良治 (関西)
"	山崎 伸樹 (四国)
"	中口 直樹 (九州)
"	賀賀 順市 (沖繩)
"	大賀 隆幸 (関東)
"	谷野 裕康 (東海)
"	松谷 哲治 (九州)
"	伊藤 彰信 (東北)
会計監査委員	
"	
特別中央執行委員	
顧問	

# 大会代議員の発言

大会において活発な質疑がおこなわれ、各地方の代議員方々より多くの意見が出されました。共同デスクでは、代議員からの発言をできる限り伝えて行こうと、紙面のスペースに限りはありますが、分担をおこないながら発言を要約して掲載して行くとしました。今回は、北海道、東北、日本海、東海、関西、四国、沖縄からの発言を掲載します。

## 北海道

北海道の財政事情について フェリー基金の地区への還元  
北海道地区として、地区団  
交権は確立しているところで  
はありますが、今後も差別運動を  
前進させていく上で、地区と

なってくる。各地区の運動を  
より活性化させるためにも、  
作業を中断するというものを  
確認してほしい。

八月二十九日に北朝鮮から  
ミサイルが発射され北海道の  
上空を通過し太平洋沖に落下  
した。Jアラートでは津波・  
地震については作業を直ちに  
ストップさせるということが  
全港湾としての決まりであっ  
たが、全港湾としての対応が

春闘において差別は非常に  
重要な位置づけにあり、全港  
湾としても差別と足並みを揃  
え、たたかいを展開してい  
る。しかし、毎年の全国港湾  
の中央執行委員会に北海道を  
はじめとする数か所の地区が  
参加できていないのが現状。

Jアラートの対応について  
東海村原発の近くには数方  
人の住宅地があり沖繩の基地  
を見ているかの様です。福島  
原発事故を教訓にJCO集会  
も東北地方青年部全体での運  
動として大きくなってきた。

JCO抗議集会について  
Jアラートの対応について  
Jアラートの討議を、検討  
でなく、地本や支部単位で早  
急にやれとした発言にしても  
らいたい。防衛能力が高い日  
本の自衛隊で、広範囲に嫌が  
らせの様な発信、数秒で通過  
経路、着弾位置の測定もでき  
ているのでしょが、国民に不  
安と米国支援指示の正当性を  
訴えるための発信に感じる。

Jアラートでは津波・  
地震については作業を直ちに  
ストップさせるということが  
全港湾としての決まりであっ  
たが、全港湾としての対応が

Jアラートの討議を、検討  
でなく、地本や支部単位で早  
急にやれとした発言にしても  
らいたい。防衛能力が高い日  
本の自衛隊で、広範囲に嫌が  
らせの様な発信、数秒で通過  
経路、着弾位置の測定もでき  
ているのでしょが、国民に不  
安と米国支援指示の正当性を  
訴えるための発信に感じる。

Jアラートでは津波・  
地震については作業を直ちに  
ストップさせるということが  
全港湾としての決まりであっ  
たが、全港湾としての対応が

Jアラートの討議を、検討  
でなく、地本や支部単位で早  
急にやれとした発言にしても  
らいたい。防衛能力が高い日  
本の自衛隊で、広範囲に嫌が  
らせの様な発信、数秒で通過  
経路、着弾位置の測定もでき  
ているのでしょが、国民に不  
安と米国支援指示の正当性を  
訴えるための発信に感じる。

Jアラートでは津波・  
地震については作業を直ちに  
ストップさせるということが  
全港湾としての決まりであっ  
たが、全港湾としての対応が

Jアラートの討議を、検討  
でなく、地本や支部単位で早  
急にやれとした発言にしても  
らいたい。防衛能力が高い日  
本の自衛隊で、広範囲に嫌が  
らせの様な発信、数秒で通過  
経路、着弾位置の測定もでき  
ているのでしょが、国民に不  
安と米国支援指示の正当性を  
訴えるための発信に感じる。

Jアラートでは津波・  
地震については作業を直ちに  
ストップさせるということが  
全港湾としての決まりであっ  
たが、全港湾としての対応が

Jアラートの討議を、検討  
でなく、地本や支部単位で早  
急にやれとした発言にしても  
らいたい。防衛能力が高い日  
本の自衛隊で、広範囲に嫌が  
らせの様な発信、数秒で通過  
経路、着弾位置の測定もでき  
ているのでしょが、国民に不  
安と米国支援指示の正当性を  
訴えるための発信に感じる。

## 東北

認可料金について  
規制緩和後、認可制から届  
出制になり料金の引き下げが  
起り会社の荷役量は変わら  
ないが収益は上からず、春闘  
や一時金交渉に大きな影響を  
与えているので認可料金の復  
活に向けた運動を全国港湾と  
共に強化して頂きたい。

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃的内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃の内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃の内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃の内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃の内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃の内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃の内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい

認可料金から届け出にな  
り、港湾に関連する組織その  
ものにも打撃の内容となっ  
ている。港湾で受け、港湾倉庫  
に預け、各企業や工場に輸  
送、この流れにそのものに苦  
しんでいる労組が存在してい



る。トラック業界規制緩和に  
より打撃的な料金で春闘や一  
時金を勝ち取れるのか、復活  
そのものが、港湾の秩序維持  
・労働条件確保だと思ふ。

選挙政党に関して  
安部政権を倒すためには野  
党共闘が重要であるが、野党  
第一党民進党前原氏は共闘に  
は否定的な考え方。分裂野党の  
状況化に於いて選挙戦に突入  
すれば、自民党の一人勝ちの  
恐れがある。野党が非自民で  
結束したたかう事が重要だと  
思う。我々の行動や活動を理  
解して応援して下さい。重要で、  
反戦平和・反原発、  
人道支援・港湾秩序等の運動  
が大打撃を受ける恐れがある  
と思ふ、候補政党を一本化し  
てたかう時が来ている。東  
北では、社民党を支援してき  
た。私達の運動を理解して下  
さる社民党に対する運動の強  
化をお願いする。

状況の中、落雷や竜巻が多発  
していると思ふ。この災  
害防止対策としての設備、  
又、現場における具体的な対  
策についてどのようにお考え  
か。ヒアリについても、イン  
ランドデポ、AEOなど港は  
貨物の通過点になっているこ  
とが最大の問題ではないでし  
ょうか。港湾労働者の安全問  
題だけでなく職域雇用の問題  
であると思ふ。

この一年間の取り組みについて  
職員Bの退職金制度創設に向  
けた交渉を進め、確立するこ  
とができました。中央交渉で  
はなかなか進展しなかった課  
題が、企業内三労組が結集し  
交渉をおこなったことで大き  
く前進することができました。

今後についても、多くの課  
題があるわけですが、企業内  
三労組の共闘で取り組んでい  
きたいと考えています。

産別を前面に出した評価の  
できる団交と感じたが疑問点  
も残る。追認作業の議論がど  
こまで行われたのか、経緯が  
わからない。日本海地区はす  
べての店社が追認に応じたに  
も関わらず二度にわたるスト  
指令が出され、業側に不信感  
を抱かせる結果となった。全  
港湾は三度のスト指示とタイ  
ミングに対し主張すべきでは  
ないか。

安全問題について  
各地方で労働対を開催し、  
出席者個人の意見よりも出身  
地方で集約された意見を持ち  
寄った会議が必要であると考  
える。

サイドリフター事故の報告  
を受けたが、コンテナをロッ  
クしてリフトする類似機械は  
多数有りサイドリフターだけ  
では不備があると思ふ。地  
区協議体制が整った今、各地  
区で協議の上限検作業を行う  
ため、方針補強をお願いしま

す。  
選挙闘争について  
野党共闘が選挙における手  
法として効果的である。全港  
湾が抱える問題の突破口とし  
て議員の活用が大事である。

この度、七尾支部委員長  
「森けんいち」が長年石川県  
における労働運動の中心で活  
動する中で、十月の七尾市議  
会選挙に立候補する事を決め  
ました。七尾支部は組織の全  
力を挙げて取り組みます。

全国港湾について  
創設から十年経っています  
が、未だに規約が整備されて  
いない事に疑問と不安を感じ  
ます。「糸谷委員長・玉田書  
記長」次々とお二人のような  
リーダーが出現してくる事は  
無いわけです。組織として力  
を發揮するために、次の十年  
に向けて組織の拡充・規約の  
整備を中心とするような組織  
にしていくか戦略をもってや  
っていただきたい。

非指定港について  
日本海にもいくつかある程  
度の荷役量を持った非指定港  
があり、それぞれ労使で「事  
前協議」を行う事で問題解決  
を図ってきました。早く情報  
を掴み、「事前協議」を持ち  
込む事が、問題解決の早道と  
考えています。中央でも知り  
える情報は、即座に地方本部  
等に伝えてもらえるようお願  
いします。

認可料金について  
規制緩和後、認可制から届  
出制になり料金の引き下げが  
起り会社の荷役量は変わら  
ないが収益は上からず、春闘  
や一時金交渉に大きな影響を  
与えているので認可料金の復  
活に向けた運動を全国港湾と  
共に強化して頂きたい。

震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

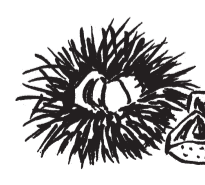
脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが

脱原発キャラバンについて  
震災後六年数カ月経った今  
でも避難者は約八万人以上、  
廃炉作業も手付かずで非常に  
危険な状態です。友達・家・  
家族・命を奪っていったのが





# 東海

### 安全対策について

先日四日市港でコンテナ荷役中に落雷し、ガントリー下でオートロックの取り外し作業をしていた作業員に感電する「ヒヤリ・ハット」が発生しました。今まで経験した事のないことが発生しました。

幸い軽い痺れで済みましたが、一歩間違えたら重大事故へと繋がるかもしれません。全国の港でも同じような事例があると思えますが他港の情報と、この様な時の対応策がありましたら教えてください。

# 関西

### 荷主責任について

現状、通行許可も取らずに海コンの配達が行われている。今秋から荷主責任を問うトラ

### 技能研修センターについて

二〇二〇年に豊橋から神戸のポートアイランドへ移転されると聞いているが、現状の人材不足を解消する一つとして各資格を取得しやすくする教習科目や試験の免除制度などはないのか。

### 独禁法問題について

産別賃金に対して言われているように、港産別は賃金の話ではないのに、産別の協定そのものが攻撃を受けている。中央団交では独禁法に抵触していないことを強調してもらいたい。

### 労災企業補償について

通勤・業務時に自然災害による被災があった際、免責で労災にあたらぬ場合がある。そういったケースに対し

### イアル調査が始まるが中央本部も注視していただきたい。

トルック・海コンの長さ規制緩和について  
労働者不足なうえに、経済優先の無理なサービス、長時間労働など劣悪な労働条件を強いられている。規制緩和の対応ではなく、適正料金の收受や約款の周知で労働者が人間らしく暮らせる業界にするべき。

### フェリー基金について

分配された基金の使い道など議案書に明記されていない。残す部分もあっていいと思うが、全国港湾の運動強化、いびつな代議員数の割り振りの修正、闘争地域や東京中央の強化など明確な使い道を議案書で提案し今後の運動の発展に繋げるべきではないか。

### 三次元スケールについて

全く討議のテーブルに上がらなくなっているが、行政への働きかけで改めて予算を立てさせるなどして、横転事故防止に向けた運動の強化を望む。

### 日検自体に違法行為をして

いる自覚がない状態で、労働組合として相手側が提案する和解案は到底認めない。東京、名古屋での抗議運動をさらに強化して進めていく所存であるとともに今後もご協力とご支援をお願いしたい。

### ドライバー責任に異議を申し立ててきた。

規制緩和がさされてきたことで、国際基準もないタンクバックで運ばせ、消防法にも矛盾している。昨年の米油漏れ事故での周知があり、先日発生したみりん漏洩事故の際にはドライバーの対処の速さも功を奏し大惨事にはならなかったが、事故撲滅に向け運動の強化が必要ではないか。

### 働き方改革について

良くするためなどの言葉を並べているが、利益追求型の政策ではない。まず、最低賃金は全国一律にすべき。現在、地方格差が広がっている。これは世界的に見ても日本は遅れている。労働者の実態を知らない者たちの会議で進めていることに問題がある。社会的に安倍政権の運動を進めなければならない。

### 追認作業とストライキ回避

はおかしい。我々の進め方自体、独禁法には抵触しない。未組織労働者は除外され、適応されていないから一律ではない。労働組合がなめられていない。来春闘はさらに強硬姿勢で突破していただきたい。

### 各地方が港湾労働に誇りを

もって働けるようにまとめるものはまとめるべき。中央は強い指導力と夢のある方針をみんなが享受できるように制度を一致団結して作り上げてもらいたい。

### ライアンズ再編について

ライアンズの再編が進められているが、ポートサービス産業への影響が懸念される。港湾労働者と等しくこれからのように対応すべきか検討いただきたい。

### 非正規労働者の組織化について

非正規のような賃金が低水準で労働条件が劣悪な労働者は増えており、相談を受け組織していく上で、組合費の問題にあたる。収入に見合った段階を付けるなど検討してもらいたい。

### 高速バス会社報告

非正規の契約社員が増やされ続けている、組合費の問題を規化を狙っていたが、団体交渉でストを背景にたたき、契約社員の正社員化を勝ち取

### 一七春闘の産別最低賃金の追認作業について、何とか確認を取ったにもかかわらず、

ライキが行われたことで、労使の信頼関係が崩れるとの意見が多くあった。統一産別制度についての意義については理解しているが、これだけ地方間・港間格差が拡大し、疲弊している地域別最低賃金の検討をして貰えないか。

### 十二月に中執を行い、年内に地方へ周知し、

年末年始を挟んで一月中旬に地方の討論集会を経て、中央委員会、全国港湾の中央委員会が引き続きあるため、職場まで下ろしての討議ができる時間が少な過ぎる。十分な議論ができるような日程を考えていただきたい。

### 国際戦略港湾について

今年六月に水島に移転した飼料工場が稼働し始めた。坂出工場は物流基地として残っているが、港湾作業の減少などにより、先行きが不安という理由などで三年の間に六名退職した。さらに、大手製粉会社も水島港への工場移転が噂されており、香川県支部、地本で関係各所に要請行動などを取り組んでいる。中央本部も行政機関への要請や支援を求める。

### ここ一〇年間で情勢や周辺環境が変わってきており、単純に指定港にしたらいいという状況ではない。

指定港になった後の事をどうするかを議論し、四国地本として方針を決めなければならないと考えている。八月二十八日に日本共産党国会議員三島川之江港視察団が来組し、三島川之江港の現状と今後の取り組みなどについて意見交換を行った。

### フェリー基金について

今年、糸谷委員長からフェリー基金について各港に割り振りしたい旨の発言があったと思う。四国は非専従体制で運動を行っているため、金銭援助をしていただければ助かる。全国港湾で議論して割り振りしてもらえようお願いします。

### 沖縄

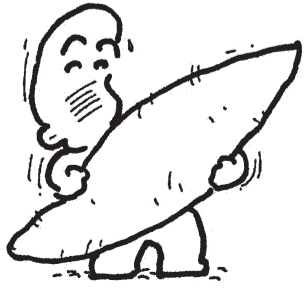
沖縄平和行進について  
誰一人リタイアすることなく反戦・反核・新基地建設反対の意をシュプレヒコールで

### 岩礁破砕の許可が三月で切

れた現状のなか沖縄県政が国を追った裁判が十月から始まるであろうとされている。護岸工事の際に使用される土砂を搬入されるであろうというなかで、全国港湾から港運協会に申し入れていただき感謝する。土砂等の搬出時で阻止できれば一層有難い。沖縄地方としても今後は辺野古問題に力を入れて取り組む。

### キャリアン動員参加比率が

西日本方面よりも東北地方の東日本の組合員の方が多い傾向にある。西日本の方は意識的にも比較的薄いので、東日本震災・原発問題を風化させないためにも西日本の組合員も動員していただきたい。





# さようなら原発・さようなら戦争全国集会 怒りを示そう！命と暮らしは私たちのもの

9月18日、東京・代々木公園において、さようなら原発一千  
万署名市民の会主催による「さようなら原発、さようなら戦争  
全国集会」が開催され、9500名が結集した。全港湾からは81名  
が参加した。集会では落合恵子氏、鎌田慧氏、福山真劫氏など  
から次々と発言を受けたが、沖縄平和運動センターの山城博治  
議長からの「戦争はしない、させない、そして戦場にはさせない。  
命と暮らしは私たちのもの。正義に向かうのに私たちが萎縮する  
ことなどない。黙っていたらさらに酷いことになる。怒りを示し  
声をあげていこう」との呼びかけに会場は大歓声に包まれた。

## 日本海 新潟支部第七二回 定期支部大会を開催



左から新潟県知事・米山隆一氏、参議院議員・森ゆうこ氏、支部委員長・鈴木龍一氏

去る、八月二十七日(日)  
私たちは、新潟支部第七二回  
支部定期大会を開催しまし  
た。当日は、代議員、特別代  
議員を含め三〇〇名の組合員  
が参加し盛大に行う事ができ  
ました。

来賓には各方面から多数の  
方から参加を頂くと共に新潟  
県知事の米山隆一さん、参議  
院議員の森ゆうこさんからも  
出席を賜り挨拶を頂きました。  
大会では二人の代議員  
から質問、意見があり、質疑  
討論を交え、鈴木委員長の総  
括答弁の後に二〇一七年度運  
動の総括と二〇一七年度運  
方針、予算が確認されまし  
た。この方針を実現すると同  
時に組合員の生活が少しでも

向上できるように取組みを進  
めます。突然、サプライズゲスト  
として民主党の吉田覚首が現  
れ、ビックリしました。先輩  
し組合員、退職者、来賓との  
交流を深める事ができまし  
性を認識すると共に参加して  
ました。頂いた方々に感謝を込め報告  
とします。  
(新潟支部書記次長  
齋藤康成)

## 日本海 原水禁大会ヒロシマ 平和行進に参加して



境港支部では毎年八月四日  
から六日の広島平和行進、原  
水禁広島大会、平和祈念式典  
など、広島島の原爆投下に関  
する一連の行事に執行部、青年  
部を主体に参加している。さ  
らにここ数年は、舞鶴支部、  
友誼団体である舞鶴クレイン  
フォーラムからも参加してい  
ただき、現地の中国支部の仲  
間とともに核兵器反対行動に  
取り組んでいる。今年も境港  
から四名、舞鶴支部から一  
名、クレイフォーラムから二  
名の合計七名で参加をした。  
(境港支部 面谷真奈樹)

## 告知板

各地方・支部は以下の通り定  
期大会を開催し、新役員体制  
を決定した(地方順、敬称  
略)

### 日本海地方直江津支部

八月十八日  
執行委員長 杉田恒、副執行  
委員長 和久井好一、書記長  
大島哲雄、執行委員 布施光  
広、荒井務、高橋竜児(青年  
部部長)、会計監査委員 八  
幡一也、小林泰栄  
日本海地方敦賀支部  
八月二十日  
執行委員長 北村司、副執行

### 日本海地方舞鶴支部

八月十九日  
執行委員長 森口一男、副執  
行委員長 小森宏、書記長  
今西昭博、執行委員 山内幸  
治、合林真吾、川端勇志、西  
野彰浩、会計監査委員 谷川  
浩巳、神社正悟  
日本海地方境港支部  
八月二十五日

執行委員長 面谷真奈樹、副  
執行委員長 道川信一、書記  
長 鈴木秀一、執行委員 渡

### 東海地方本部(五支部)

八月三十日  
執行委員長 鈴木勝也、副執  
行委員長 千頭和達也、土井  
慎次、書記長 大野裕康、執  
行委員 木村幸嗣、竹内栄  
広、榊原崇、執行委員(ア)  
楠正二郎、会計監査委員 中  
田博之、原田雄司  
東海地方四日市支部  
八月二十五日

執行委員長 木村幸嗣、副執  
行委員長 齊藤明彦、糸内克  
哉、楠正二郎、総務政策局長  
鈴木貴則、労務局長 大野裕

### 水大司、山田勝、執行委員

中條隼人、堀内隆、西條彰  
洋、神田勝弘、徳安千明、片  
岡孝太、青木勲、鈴木潤、鈴  
木肇、白井和人、団体加盟、  
員 三浦和敏、佐野正弘、八  
塚一真、会計監査委員 杉山  
裕彦、山本浩也  
四国地方徳島支部  
八月十九日

執行委員長 鈴木勝也、副執  
行委員長 山下晋、小田島智  
章、北村亨、書記長 竹内栄  
広、書記次長 中田博之、分  
生、川村博、吉松健、佐々木  
優、浜田実、来見一生、堺正  
藤波雅也、藤城理充、斎藤竜  
二、会計監査委員 近藤実、

### 九州地方関門支部

八月二十五日  
執行委員長 松永英樹、副執  
行委員長 山田憲司、書記長  
法本健吾、執行委員 津々見  
英一、得平隆弘、守島晋二、  
孝信、関英一  
以上

執行委員長 元木啓次、副執  
行委員長 長谷直樹、書記長  
伊達健太、執行委員 大石尚  
生、川村博、吉松健、佐々木  
優、浜田実、来見一生、堺正  
藤波雅也、藤城理充、斎藤竜  
二、会計監査委員 近藤実、

### 共同デスクー同

- 伊藤勇武 (北海道)
- 大門 智 (東北)
- 北村 司 (日本海)
- 石原茂治 (関東)
- 中田博之 (東海)
- 道下拓也 (関西)
- 庭瀬和昭 (四国)
- 松本大輔 (九州)
- 與儀泰寛 (沖縄)
- 片柳悦正 (本)